



仙台市では令和5年4月までに市内すべての学校をコミュニティ・スクールとし「学校運営協議会」を学校単独または各中学校区において設置することとしております。泉松陵小学校と松陵中学校は、令和3年3月に小中連携型のコミュニティ・スクールとして仙台市に登録し、「泉松陵小学校・松陵中学校 学校運営協議会」を発足しました。

＜今年度の活動を振り返って＞

- 第1回 令和3年3月12日（金）於：泉松陵小学校
 - ・任命状交付（学びの連携推進室来校）
 - ・組織や委員の確定
- 第2回 令和3年4月5日（月）於：松陵中学校 *コロナ感染症対策により中止
 - ・小中連携全体会（小中全教職員参集）参観と運営委員の紹介
- 第3回 令和3年6月30日（水）於：泉松陵小学校
 - ・授業参観
 - ・熟議「地域でどのような子供を育てたいか」
- 第4回 令和3年9月22日（水）於：松陵中学校
 - ・授業参観
 - ・熟議「子供たちが地域でできることはないか」
- 第5回 令和3年11月25日（木）於：松陵中学校
 - ・年間の総括
 - ・次年度に向けて



＜コミュニティ・スクールとは＞

コミュニティ・スクールは「学校運営協議会」を設置している学校を指しており、学校・家庭・地域の三者が、学校運営の基本方針や育む児童生徒像を共有し、連携・協働して取り組むための仕組みです。



*授業参観の様子

＜運営委員の皆様＞ 令和3年12月～令和4年11月

	氏名	所属など
1		泉松陵小学校 学校支援地域本部スーパーバイザー 【運営委員長】
2		泉松陵小学校 学校支援地域本部スーパーバイザー
3		松陵中学校 学校支援地域本部スーパーバイザー
4		泉松陵連合町内会会長
5		元泉松陵小学校 PTA 会長・元松陵中学校 PTA 会長
6		民生委員児童委員
7		町内会相談役
8		松陵市民センター館長
9		松陵永和台地区社会福祉協議会ハートフル松陵部会福祉委員
10		泉松陵小学校 PTA 会長
11		東北学院大学文学部教育学科教授
12		泉松陵小学校教頭 【事務局】
13		松陵中学校教頭 【事務局】
参与		泉松陵小学校校長
参与		松陵中学校校長



第3回（6月30日）熟議テーマ

「地域でどのような子供を育てたいか」

グループになって話し合い全体で共有しました。

A グループ

子供たちは、うまく伝えられないことでトラブルが見られるようだ。コミュニケーションで人と関わる力を育みたい。手段として挨拶を徹底したい。思いやりの心を持って関わることができればよいと考える。

B グループ

自由に育てたい。自由とは個性を尊重すること。個性を尊重しながら迷惑を掛けないことが大事。いじめ防止につながる。自分の立場と相手の立場をわきまえること。自己肯定感と自己承認を大人が促すようにする。

C グループ

基本は挨拶ができる子にしたい。挨拶することで思いやる心や人に温かい子供に育つ。自己肯定感があり個性豊かな子供にしたい。そのために中学生や高校生を地域で活躍させたい。地域のイベントに計画から参画させたい。七夕まつりや市民センターイベントなど。上の世代で影響を受けるのでうまく活用できればよい。

D グループ

ランドデザイン（*1）にあるように小学校ならば「笑顔・チャレンジ・思いやり」のある子に育てたい。実現するために青年や大人、地域の人々が実践していく

*1：学校の教育理念や果たすべき役割を描いた経営全体構想。

*2：持続可能な開発目標。誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標として、環境問題や差別・貧困・人権問題など17の課題について2030年までに解決していこうという計画・目標のこと。

第4回（9月22日）熟議テーマ

「子供たちが地域でできることはどんなことか」

フリートークで考えを出し合いました。



A 委員

コミュニティスクールとは、地域の子供を責任を持って見ていくことだと思う。お母さん方の中には生活が大変だという家庭もある。孤独を抱えている人もいるようだ。自分の悩みを言える場があるとよいと思う。話すだけでも変わる。

B 委員

できることは子供たちの思い出づくりのお手伝い。地域として何かしていくことだと思う。

C 委員

子供たちを引っ張り出して、通学路をきれいにしようとか町内会としてできることをさせたい。大人も子供も一緒にできる美化活動はどうか。

D 委員

地域のためにできることは挨拶。毎日やっていると顔見知りになる。挨拶してこの人はどこの誰というのが分かるようになって親しみやすい人になっていける。みんなでやる掃除も楽しくきれいになる。お祭りなど楽しいイベントを行いたい。子供も大人もわくわくして接する機会があるとよい。

E 委員

地域の清掃をやるのはとても良い。月一回美化活動。松陵の町でプラゴミを拾うよなど身近なところからやっていくのがよいと感じる。

F 委員

キャッチコピーとして「笑える地域づくり」はどうか。SDGs（*2）の一つどんな人にも優しくという雰囲気ができれば、子供たちもすくすくと成長すると思う。そのために挨拶に取り組んでいく。

G 委員

親と学校だけの関係ではなく町内会や子供会とつながるとよい。居場所が一つだけだと閉鎖的になってしまう。親の居場所を作りたい。「私が住みたい環境」を私たちが作ることが大事。

H 委員

学校と家庭と地域で教育が必要。行事を通して大人と子供の顔が見えることが必要。顔が見えて初めて成果が上がる。町内会清掃に大人と子供がでて顔が見えるようになる。挨拶は信頼関係につながる。子供たちの思い出作りも必要。子供たちに参加してもらえることを考えていくとよい。